

# 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	28	学校名	静岡県立富士宮北高等学校	記載者	長谷川祥吾
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	自己評価	関係者評価	意見
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各90%以上</li> <li>・登校指導3日、昼巡視20日を通して挨拶、声掛けの励行</li> <li>・交通安全教室4月に実施</li> <li>・交通事故10件以内</li> <li>・ケイタイマナー教室1回実施、授業、LHR等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者評価 95.6%(-1.1%)</li> <li>・挨拶・声掛けは、目標通り実施できた。</li> <li>・交通事故14件（R7,12月現在）。交通安全マナーに対する苦情が多かった。交通安全教室は目標通り実施できた。「交通マナーがよい」軒並み低評価</li> <li>・「学校にはいじめやネットによる誹謗中傷がなくてよい」生徒 92.5%(-0.2%) 保護者 84.6%(+0.2%) 教員 84.1%(+0.3%)</li> </ul>	B B C  A	B	環境がよく、また、先生方の取り組み姿勢も熱心なので子どもたちが育っているのだと思います。交通安全は分校でも意識を高めたい
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員は、悩みなどの相談（いじめ含む）にのってくれる」生徒評価90%以上</li> <li>・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてケース会議を実施した。外部機関との連携を図り、生徒へ適切な支援を行った。</li> <li>・生徒評価 92.1%であり、概ね達成できた。</li> </ul>	A	A	丁寧な指導・支援が行き届いている 生徒評価の高さは信頼されていることの証明です。 ケース会議対象者はこれからも増えていくと予想されるのでケース会議を充実させていっていただきたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典等の行事を通じた校訓・校歌の理解・浸透</li> <li>・集会や行事を通じた規範・帰属意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典、集会等を通じて、生徒は校訓に対する理解を深めることができた。</li> <li>・応援団長の指揮、吹奏楽の演奏で校歌を歌ったが、大きな声を出さない生徒が多い。</li> <li>・「生徒会活動は生徒が主体で充実した」生徒 89.4%(1.2%) 保護者 92.2%(+5.3%) 教員 (81.4%(+13.8%))</li> </ul>	B  A	A	生徒に継続して伝えていく意識があることが重要 生徒会活動が生徒主体で充実していることは、とても良いこと重要なことです。多くの保護者が理解し支持していることは、学校が信頼されていることの証明です。 とても素晴らしい生徒の姿だと思います。

イ	探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かりやすく学力が付く授業」85%以上</li> <li>・「自らの考えを表現できる生徒」50%以上</li> <li>・一日平均普通科90分以上、商業科60分以上</li> <li>・「家庭学習が習慣化している」70%以上</li> <li>・放課後の有効活用(委員会等の会議設定、学習指導、検定対策、部活動等)の実現に向けた教育課程検討委員会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒 92.3%</li> <li>・保護者 88.4%</li> <li>・生徒 43.3%</li> <li>・保護者 44.1%</li> <li>・普通科 129.2分</li> <li>・商業科 88.2分</li> <li>・生徒 32.1%</li> <li>・保護者 32.4%</li> <li>・教育課程検討委員会5回(1月5日現在)開催。新教育課程の編成</li> </ul>	A	B	マイコーデウイークなど新たな刺激で表現できる生徒が増えたと聞きました。自分の考えを表現できる生徒が増加しているためA
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業の実施率80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒 92.3%</li> <li>・保護者 88.4%</li> </ul>	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価90%以上</li> <li>・新課程における適切な観点別評価の実施100%</li> <li>・授業公開週間を年2回以上実施</li> <li>・生徒による授業改善のためのアンケート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価88.4%</li> <li>・観点別評価の見直しが終わった。</li> <li>・授業研修週間を1、2学期に1回ずつ実施した</li> <li>・生徒による授業改善のためのアンケートを1、2学期に1回ずつ実施した</li> </ul>	A	A	生徒評価が高評価なのは本当に素晴らしいです。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した探究学習の実施</li> <li>・充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・3年生は新しい内容の探究学習に取り組むことができた。</li> <li>・総合的な探究の時間推進委員会を1回しか行うことができなかった。</li> </ul>	A B	A	総学から探究に進化して、課題発見からスタートするようになりました。好奇心を刺激するような仕掛けができるかと思います。探究の発表会、素晴らしかったです。

ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対外的な商業活動 20 名以上</li> <li>・3 年の課題研究発表会の実施</li> <li>・商業科 2 級以上取得 95%以上、1 級 3 種目以上取得 20%以上</li> <li>・「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒 70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士宮市と連携したネパールの学生と GoogleMeet で交流。商工会議所で企業研究発表。ビジネス基礎の分校の授業参加など 90 名以上の生徒が対外的活動を実施</li> <li>・3 年生の課題研究発表会の実施により令和 7 年度課題研究発表会への本校代表を決めた。</li> <li>・商業科 2 級以上 73 / 76 人 96%</li> <li>・1 級 3 種目以上 13 / 76 人 17%</li> <li>(令和 8 年 1 月 8 日 現在)</li> <li>これから 1 月に 簿記・情報処理 2 月に商業経済検定実施</li> <li>・「授業等で実践的な取組み」生徒肯定評価 65 / 76 86% (令和 5 年入学生)</li> </ul>	A	A	ローカルは地域探究で小中学生や高校生も取り組みが活発になりましたが、グローバルがどの高校ももう一步の状況かと思えます。異文化交流を是非、続けてください。マーケティングなど商業教育の幅や面白さが広がってきています。いろいろな角度から関心を持てると思います。より高みを目指すことであるが、十分な実績があるため A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材による講演会の実施</li> <li>・商業科体験入学会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁理士による知的財産権講座。税理士による租税教室。第一テレビアナウンサーによるキャリア講演会実施。</li> <li>・商業科体験入学会では簿記とマーケティングの講座で体験授業を実施</li> </ul>	A	A	有意義な教育活動と考えます。これからも外部人材を積極的に活用していただきたい。
エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外模試偏差値 50 以上が 1・2 年で 20 人以上、3 年で 10 人以上</li> <li>・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 90%以上、保護者肯定評価 80%以上</li> <li>・「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11 月進研 (3 年) 5 教科マーク 8 人</li> <li>・9 月進研 (3 年) 5 教科マーク 5 人</li> <li>・6 月進研 (3 年) 5 教科マーク 8 人</li> <li>・生徒肯定評価 88%以上、保護者肯定評価 84%</li> <li>・「進路決定先満足度」3 年生肯定評価 96%</li> </ul>	B	A	数字の上昇によって生徒に何を望むのかについて柱があると思います。希望に応じた進路実現が素晴らしい
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路意識を向上させるため、学期に 2 回以上自らの行動を記録させ、学期に 1 回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること</li> <li>・「学びの基礎診断」としての測定ツールを活用し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志望理由書や自己 P R などを通して自身の特徴を理解できた。</li> <li>・年度初めに「スタディーサポート」を実施し、その後振り返りを実施した。</li> </ul>	A	B	生徒の進路実現に向け、引き続き一人ひとりに向かった指導を継続していただきたい。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい入試に対する情報を収集し、その結果を生徒に伝える機会を学期1回程度持つことで、生徒と教員の情報共有ができること</li> </ul>	<p>昨年度から「情報I」が共通テストに加わったが、担当教員が少ないため、指導方法は定着できていない。しかし、多くの教員の協力により、来年につながる指導の見通しは立ったと思う。</p>	A	A	
オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒85%以上</li> <li>・ボランティア活動に参加40%以上</li> <li>・生徒会を中心としたボランティアの参加4回以上</li> <li>・よりよい学校づくりや校則の見直し等に、生徒が積極的に参画する経験を通して、物事が成就する過程を経験させ、自己肯定感の高揚を図る。</li> <li>・生徒会の生徒を中心としたランチミーティングの実施…年間10回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒91.8%(+2.8%)</li> <li>・生徒46.7%(-0.3%)</li> <li>・生徒会主催ボランティア5回実施。40名以上が参加。</li> <li>・ランチミーティング7回実施。</li> </ul>	A	A	部活動やボランティア活動は、御校の大きな強みだと思いますのでより一層充実した取り組みになることを期待しております。分校との交流が増え、とても嬉しい生徒中心のマイコーデウィークの実践
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書を時間通り始めているクラス100%</li> <li>・奨励図書を生徒公募、ビブリオバトル活動の継続</li> <li>・図書貸出全校で1,000冊以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は94.7%、保護者は93.5%と回答しているため、おおむね良好である。</li> <li>・ブックフェア、図書購入、読書週間を行った。ビブリオバトルの取り組みは良好である。</li> <li>・図書貸出冊数は、全校で601冊だった。</li> </ul>	A	A	定着していると思います。西部の中学校では瞑想が定着しているようです。活字を読み込み脳でイメージ化することは、大事だと捉えています。図書を紹介したり親しませたりする場を今後とも生徒に提供していただきたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価60%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員評価48.8%であった。</li> </ul>	C	B	新校舎は汚れが目立ってしまうとも伺いましたが、いかがでしょう。新校舎が建設・運用され、学校内がきれいになった印象がある。継続的な指導をお願いしたい。敷地が広いので維持管理は手間暇がかかると思う。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践(年1回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施することができた。</li> </ul>	A	A	今後も継続・発展したい

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分校との交流 20 回以上</li> <li>・富士宮分校生徒とのプランターの植栽活動の実践(年 1 回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分校との交流 20 回以上を達成できた。さらに分校職員との合同研修会や新規で生徒会のランチ交流「みやラン」を行えた。富士宮分校の交流は、北嶺祭・体育の部、庭園・美化委員会による植栽作業、一年部生徒の交流等を、20 回以上行うことができた。</li> </ul>	A	A	<p>自然に時間や場所を共有できるといいと思います。多くの交流で自然なかかわりが増えてきたことに喜びを感じる。分校生徒の成長にも大きく寄与している。</p> <p>近くに分校はあるのは大きな教育資源。それをしっかり生かしていると思います。他を思いやる気持ちが育つことにつながっていると考えています。</p>
カ	外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員向け校内研修 2 回以上</li> <li>・生徒の地域防災参加 50%以上</li> <li>・「防災訓練等で生徒の防災に対する意識が高まっている」生徒評価 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員向けに、マンホールトイレの組立など、防災研修を 2 回行った。</li> <li>・呼びかけを強化したが、インフルエンザの影響もあり、生徒の地域防災参加率は昨年度とほぼ同程度の 32%だった。</li> <li>・「防災訓練等で生徒の防災意識が高まっている」が生徒 89%、保護者 85%、職員 87%であった。</li> </ul>	A B A	A	<p>何かあったときに最も頼りになるのが高校生だと聞きます。意識の醸成にもお取り組ください。</p> <p>インフルエンザの影響がある中で、昨年度と同程度であれば増加と読み取れる</p> <p>防災研修を複数回行っていることが職員・保護者・生徒の防災意識の高さに反映されていると判断しています。また、「安全だからこそ安心できる学校」に結びついているとも思います。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期の迅速なホームページの更新</li> <li>・インスタグラムによるタイムリーな配信</li> <li>・PTA、学校後援会及び同窓会との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの年度更新、及び目次や内容の更新も随時、迅速に行った。学期ごとにアクセス数をまとめて提示した。</li> <li>・「地域や保護者に積極的に情報発信している」が保護者 89%と大幅に伸びた。教員は 95%。</li> <li>・タイムリーな配信を大量に行うことができた。1 月 15 日現在、投稿数 714 件、フォロワー 1892 人である。</li> <li>・クラスや部活などに担当を割り振ることによって、学校全体の活動状況や生徒の笑顔を発信することができた。</li> <li>・「本校の P T A は活発である」が保護者 95.2%と更に伸びた。</li> <li>・ P T A 役員会が円滑に進んだ。 P T A の各委員会が活発に活動し、奉仕作業等の行事も盛大に実施された。</li> <li>・後援会や同窓会との連携及び見直しを進めた。</li> </ul>	A	A	<p>公立高校においても SNS をうまく使った工法が求められる時代になりました。</p> <p>HP、インスタ等、更新が頻繁に行われ、内容が充実しているインスタグラムによる情報発信は学校行事の様子や部活動の活動状況が発信され、非常に良いと思う。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験入学アンケート、満足度80%以上</li> <li>・魅力的な体験入学および公開授業の実施</li> <li>・効果的な広報資料の作成と中学校訪問年3回実施による志願者の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生 98%</li> <li>・保護者 96%</li> <li>・簿記・マーケティングの体験授業実施</li> <li>・中学生満足度 95.5%</li> <li>・中学校説明会の実施年間8校実施。その他の中学校訪問は地域内全校に回った。</li> </ul>	A	A	
キ	<b>教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修参加95%以上、満足度80%以上</li> <li>・事例研究、グループ研修を年3回以上実施</li> <li>・校外研修の報告することで情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修参加、満足度ともに目標を達成している。</li> <li>・チーム研修を4回実施した。</li> <li>・かえつ有明高等学校の視察報告を実施した。</li> </ul>	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応</li> <li>・コンプライアンス通信を配布し注意喚起</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス委員会年3回実施した。</li> <li>・毎月、コンプライアンス研修を実施し、教職員の不祥事はなかった。</li> </ul>	A	A	大きな事案が生じないことは素晴らしい
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室への消毒設置100%</li> <li>・感染症・熱中症の注意喚起を年3回以上実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教室に設置することができた。</li> <li>・計画通り実施することができた。</li> </ul>	A B	A	次は、活用法などに視点を置くことが求められるのでしょうか。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査等における指摘事項0件</li> <li>・令達予算の見込みを含む第3四半期執行率85%以上</li> <li>・施設設備安全点検月1回以上により、施設設備の不備に起因する事故発生件数0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例月会計検査、会計指導検査、物品指導検査、公有財産調査及び監査（財務）における指摘事項はなかった。</li> <li>・見通しを含めておおよそ達成できた。</li> <li>・事故発生件数は0件を達成できた。全般的な安全点検は担当による1回しかできなかった。</li> </ul>	A A B	A	

ク	<p>教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェックの結果が県平均より良好</li> <li>・職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化</li> <li>・業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化</li> <li>・定期テスト監督の平準化</li> <li>・職員の完全退庁時間を設定</li> <li>・時間外勤務時間が昨年度比－５％を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね県平均と同じ結果</li> <li>・運営委員会や職員会議の資料のデジタル化を進めた。また発言内容の要約等を依頼し、会議時間が短縮された。</li> <li>・学級閉鎖の判断ガイドラインなど、従来時間がかかっていた内容をマニュアル化した。</li> <li>・教務課でテスト監督の回数等を管理している。</li> <li>・20:00 完全退庁時間を設定し、掲示した。</li> <li>・定時退庁日などに呼びかけを行ったが、昨年度と比較して-0.33%にとどまった。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>C</p>	<p>A</p>	<p>時間外勤務時間の削減は、業務の見直しや個々の働き方など根本的なことから考える必要があるのかもしれませんが。会議時間の短縮は重要だと思う</p> <p>教職員の皆様はご多忙だと思うが、業務のデジタル化の活用など業務効率化を推進し、負担軽減に努めていただきたい。</p>
---	----------------------------------	--	---	---	----------	--